



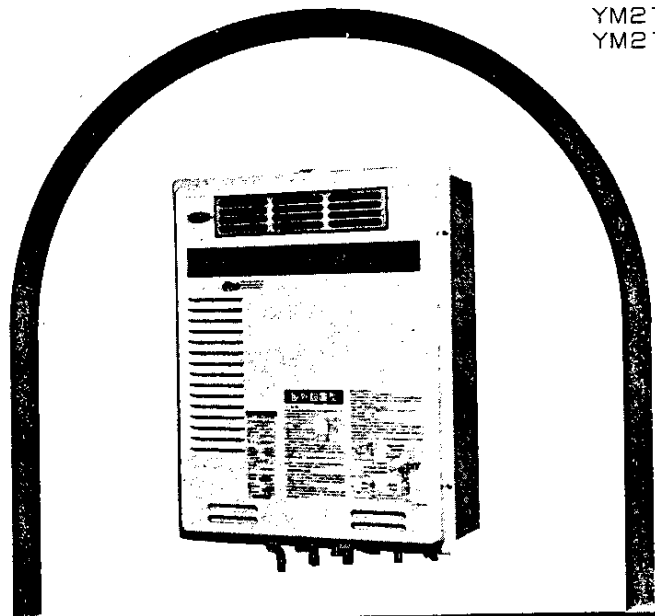
# ガス追いだき機能付湯沸器

## 取扱説明書

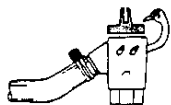
31-280型 31-283型  
31-281型 31-284型  
31-282型

保証書付

型式名 YM2104R  
YM2104RG  
YM2104RE  
YM2104RM



### ガス器具をご使用になるときのご注意



ガス器具をご使用になったあとは必ずガス元栓も閉める習慣を



ガス器具をご使用中は熱くなります手をふれないでください!



ガス器具はガスの種類にあった正しいものを

- ご使用前に必ずこの説明書をよくお読みの上、正しく操作してください。なお、ご不明な点があればお買い求めのサービスショップ、またはもよりの大阪ガス支社にお問い合わせください。

### ごあいさつ

このたびは、大阪ガスのガス追いだき機能付湯沸器をお買い求めいただき、ありがとうございました。

別添の保証書とともに、この「取扱説明書」を大切に保存してください。

### もくじ

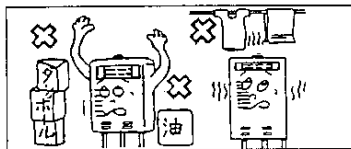
●各部の名称	2
●特に注意していただきたいこと	5
●器具の設置・工事	8
●使用手順	9
●器具(ポンプ)内への呼び水のしかた	23
●断水時・停電時の処置	24
●冬季の凍結による破損予防について	25
●日常の点検・手入れ	27
●長期間使用しない場合	29
●故障・異常の見分け方と処置方法	30
●アフターサービス	34
●仕様一覧表	36
●外形寸法図	37
●別売部品のご紹介	39
●特長	40
●本製品と快適なくらしのために	42



## 特に注意していただきたいこと②

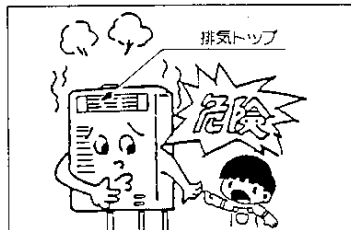
### ②火災予防

- 洗たく物・ダンボール箱・揮発油などの燃えやすいものを、器具の上やそばに置いたり、近付けたりは、絶対にしないでください。



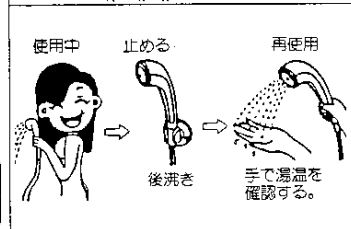
### ③やけどのご注意

- 器具をご使用中または使用後しばらくは、器具本体（特に排気トップ）が熱くなりますので、絶対に手を触れないでください。



（※小さなお子様のいらっしゃるご家庭では、特にご注意ください。）

- 給湯使用后、すぐにシャワーをご使用のときは、いきなりからだや頭にかけないで、手で湯温を確認してご使用ください。



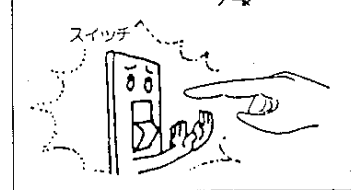
（※器具の後湯きにより、一瞬熱いお湯が出ることがありますので、十分にご注意ください。）

### ④ガス事故防止

- 器具のガス漏れに気付いたときは、ただちにご使用を中止して、ガス元栓を閉じ、お買い求めのサービスショップ、またはもよりの大阪ガス社にご連絡ください。



- 器具のガス配管から、ガスが漏れたときは、火を付けたり、他の電気器具のスイッチの「入」「切」や電源プラグの抜き差しなどは、絶対にしないでください。



### ⑤用途についてのご注意

- この器具は、給湯・シャワー・風呂のお湯はり・追いだし以外の用途には、使用しないでください。

### ⑥飲料用や調理用にご使用のときのご注意

- 器具を長時間使用しなかったときは、すぐに飲料用や調理用に使用しないで、少し水（湯）を流してからご使用ください。

## 特に注意していただきたいこと③

### ⑦市販の補助用具の使用についてのご注意

- この器具には、専用の付属部品および別売部品を準備していますので、それ以外の適合が確認されていない市販の補助用具などは、絶対に使用しないでください。

### ⑧凍結についてのご注意

- この器具には、冬期の凍結による破損予防のために、（凍結予防ヒータ）が内蔵されています。（凍結予防ヒータ）が必要な期間中には、器具内の水を抜くときや緊急のとき以外は、絶対に電源プラグを抜かないでください。

- 外気温度が極端に低くなるときには、この（凍結予防ヒータ）も効果がありませんので、器具内の水が凍結して、破損事故が起こることがあります。このように、器具内の水が凍るおそれのあるときは、凍結を予防する処置を必ず行ってください。

（※詳しくは、25～27ページの「冬期の凍結による破損予防について」の項をごらんください。）

### ⑨異常時の処置についてのご注意

- 器具がご使用中にふだんと違った状態になったときや、故障・異常が生じたときは、あわてないで、運転スイッチを「切」にして、ガス元栓を閉じ、十分な点検をしてください。

（※詳しくは、30～33ページの「故障・異常の見分け方と処置方法」の項をごらんください。）

### ⑩落雷のおそれがあるときのご注意

- 落雷による一時的な過電流で、電子部品が故障することがありますので、雷が発生しているときは、ご使用を中止して、すぐに電源プラグを抜いてください。
- その後、雷が遠ざかったことを確認してから、電源プラグをコンセントにしっかりと差し込んでください。

### ⑪浴そう用洗剤および入浴剤の使用についてのご注意

- 浴そう用洗剤には、酸・アルカリなどを含んだもの、また入浴剤には、イオウ成分を含んだものがあり、風呂蓋や風呂アダプタなどを腐食させることがありますので、ご購入の際には浴そう用洗剤などのご注意文をお読みください。

### ⑫日常の点検・手入れ

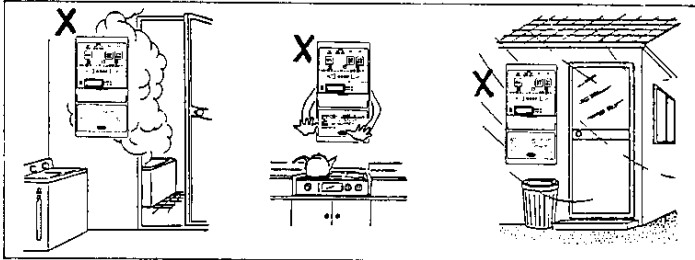
- この器具を安全に、快適に、ご使用いただくために、日常の点検・手入れをしてください。

（※詳しくは、27～29ページの「日常の点検・手入れ」の項をごらんください。）

## 特に注意していただきたいこと④

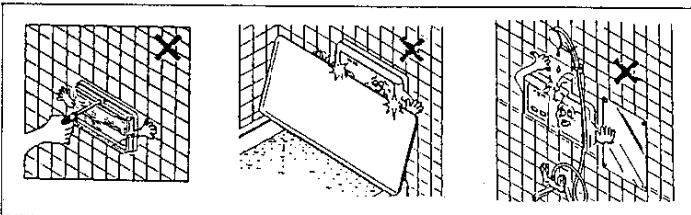
### メインコントローラについてのご注意

- ①湯気のかかるところや湿気の多いところには、設置しないでください。
- ②ガスこんろなどの燃焼器具の熱気が直接かかるところには、絶対に設置しないでください。
- ③屋外には、絶対に設置しないでください。



### 風呂コントローラについてのご注意

- ①風呂コントローラは、絶対に分解しないでください。
- ②浴そうのふたなどを風呂コントローラに当てたりしないでください。
- ③風呂コントローラにシャワーなどの水が直接かからないようご注意ください。



## 器具の設置・工事

- ①この器具の設置・工事は、お買い求めのサービスショップ、またはもよりの大阪ガス支社に依頼し、安全な位置に、正しく行ってください。  
〔※詳しくは、「工事説明書」をごらんください。〕
- ②この器具は、屋外用ですので、屋内には絶対に設置しないでください。

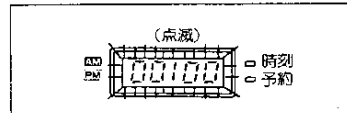
## 使用手順

### ご使用前の準備と確認

- ご使用前には、次の手順にしたがって準備と確認を行ってください。
- 手順1：器具をはじめてご使用になるときや、凍結予防などで、水抜き操作後にご使用になるときは、器具(ポンプ)内への呼び水をしてください。  
〔※呼び水の方法は、23ページの項をごらんください。〕

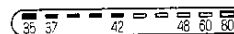
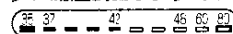
手順 2	手順 3	手順 4	手順 5
<ul style="list-style-type: none"> <li>●給水元栓を全開にしてください。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●給湯栓を開いて水が出ることを確認して、給湯栓を閉じてください。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ガス元栓を全開にしてください。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●電源プラグをコンセントにしっかりと差し込んでください。</li> </ul>

〔※電源プラグをコンセントに差し込みますと、メインコントローラの(時刻表示)が点滅しますので、20ページの「現在時刻の合せ方」の項にしたがって操作してください。〕



### 手順 6

メインコントローラの **運転** スイッチ押す  
または  
風呂コントローラの **運転** スイッチ押す → メインコントローラ優先ランプ、湯温調節ランプおよび風呂コントローラ湯温調節ランプが点灯します。



## 使用手順②

### 給湯・シャワー

#### ①お湯の出し方(点火)

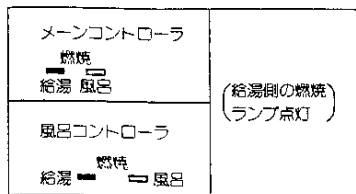
- ①メインコントローラまたは風呂コントローラの湯温調節ランプが点灯していることを、ご確認ください。

②



給湯栓を開く

自動的に点火



#### 《ご注意》

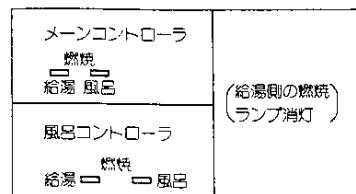
- ①給湯栓を絞りすぎると、点火しなかったり、消火することがあります。
- ②湯温調節を高温設定にしたときは、水中に含まれた空気が分離して気まうとなり、お湯が白くなることがありますが、空気ですので何ら心配ありません。

#### ②お湯の止め方(消火)



給湯栓を閉じる

自動的に消火



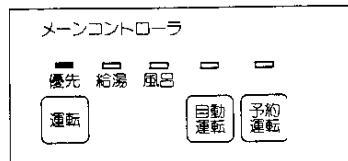
#### 《ご注意》

- ①通常は、自動的にガス量を調節して設定湯温に合せますが、ガス量を最大にしても設定湯温にならないときは、ガス量は最大のままで自動的に水量を少なくして、設定湯温に合せます。
- ②また、混合水栓をご利用になるときは、湯温調節ランプの点灯位置を、(60) (約60℃の湯温設定)にしたままで、水と混ぜてお好みの湯温にすることもできます。  
 (※サーモミキシングをご利用の場合や、夏期に多量のお湯が必要なご家庭に おすすめします。)
- ③給湯栓を閉じた後、送風機がしばらく回っていますが、異常ではありません。

## 使用手順③

### メインコントローラでの湯温調節のしかた

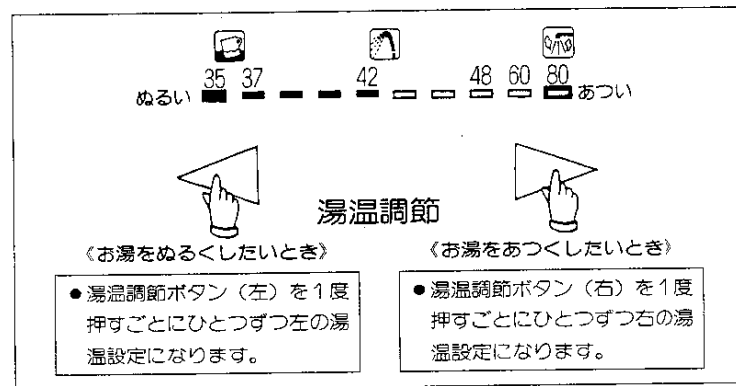
- ①メインコントローラの優先ランプが点灯していることをご確認ください。



※メインコントローラの優先ランプが消灯しているときは、メインコントローラでの湯温調節はできません。

風呂コントローラの「優先」スイッチを押してメインコントローラの優先ランプを点灯させてください。風呂コントローラの優先ランプは消灯します。

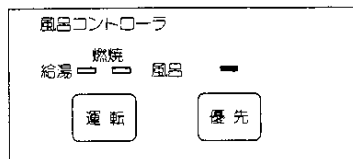
- ②メインコントローラの湯温調節ボタン(左)・(右)により、約35~80℃の間で(10段階)の湯温が選べます。
- ③<・>湯温調節ボタンを押して、湯温調節ランプの点灯位置を移動させて、お好みの設定湯温にセットしてください。
- ④湯温調節ランプの点灯位置を、(42)にすると、(約42℃)のお湯になります。



## 使用手順④

### 風呂コントローラでの湯温調節のしかた

- ①風呂コントローラの優先ランプが点灯していることをご確認ください。



※風呂コントローラの優先ランプが点灯しているときは、風呂コントローラでの湯温調節はできません。

風呂コントローラの「優先」スイッチを押して風呂コントローラの優先ランプを点灯させてください。メインコントローラの優先ランプは消灯します。

- ②風呂コントローラの湯温調節ボタン（左）・（右）により、約35～80℃の間で（10段階）の湯温が選べます。
- ③◀・▶湯温調節ボタンを押して、湯温調節ランプの点灯位置を移動させて、お好みの設定湯温にセットしてください。
- ④湯温調節ランプの点灯位置を、(42) にすると、(約42℃)のお湯になります。

ぬるい 35 37 42 48 60 80 あつい

湯温調節

「お湯をぬるくしたいとき」

- 湯温調節ボタン（左）を1度押すごとにひとつずつ左の湯温設定になります。

「お湯をあつくしたいとき」

- 湯温調節ボタン（右）を1度押すごとにひとつずつ右の湯温設定になります。

## 使用手順⑤

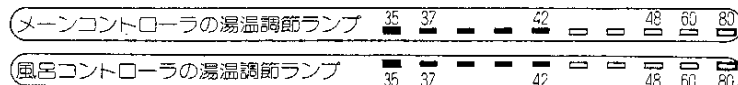
### ※給湯・シャワー温度の記憶

- この器具は、メインコントローラまたは風呂コントローラで最後に使用された湯温調節の湯温を自動的に記憶しています。
- この記憶は、運転スイッチの「入」切または優先スイッチの切替に関係なく行われます。ただし、停電後は記憶が解除され、湯温調節ランプは、左から5つ点灯します。

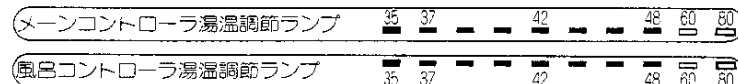
(例) 停電後または設置後、はじめてご使用の場合

- ①メインコントローラまたは風呂コントローラの「運転」・「優先」スイッチ押す。

↓  
メインコントローラの優先ランプ点灯。

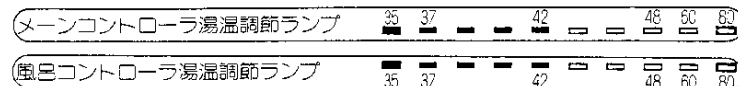


- ②メインコントローラの▶湯温調節ボタン3度押す。



- ③風呂コントローラの「優先」スイッチ押す

↓  
風呂コントローラ優先ランプ点灯。



- ④風呂コントローラの「優先」スイッチ押す

↓  
メインコントローラの優先ランプ点灯。

②の表示になります。

- ⑤運転スイッチを2度押す。「切」・「入」する

↓  
②の表示になります。

## 使用手順⑥

### 自動運転(適温・適量運転)のしかた

- この器具は、風呂(浴そう)へ自動的にお湯はりおよび追いだきを行い、適温・適量になりますと運転を停止します。

#### ①自動運転の水位設定

(自動運転のときの(適量停止水位)、浴そう水位の設定)

- 器具をはじめてご使用になるときや、水位設定を変更されるときだけに必要な操作です。

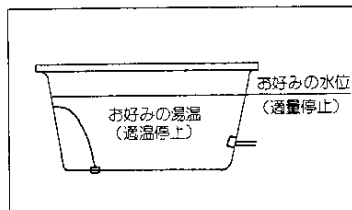
(※操作方法は22ページをごらんください。)

#### ②自動運転の湯温設定のしかた

(自動運転のときの(適温停止)浴そう内の湯温の設定)

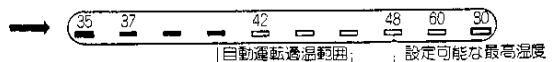
- 器具をはじめてご使用になるときや停電後の再使用時、また湯温設定を変更されるときだけ、操作が必要です。

(※停電後は42℃設定になっています。)



- ①メインコントローラ、または風呂コントローラの湯温調節ランプが点灯していることを確認してください。

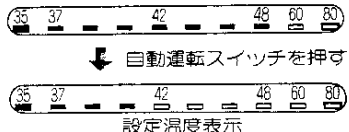
- ②メインコントローラ  
または  
風呂コントローラの  
お好みの湯温に(湯温調節ランプの位置を)合わせる。



- 風呂コントローラの **自動運転温度設定** ボタンを押す → 自動運転温度記憶完了。

※自動運転温度の記憶は、運転スイッチまたは自動運転スイッチの「入」「切」で解除されることなく記憶されます。

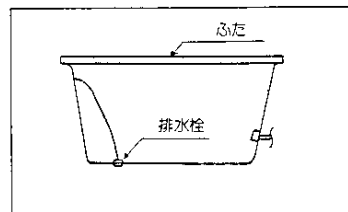
ですから、湯温調節ランプが48℃の位置にあっても、自動運転スイッチを押しますと湯温調節ランプは記憶された位置に移り、自動運転を開始します。



## 使用手順⑦

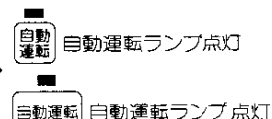
### ③自動運転の準備

- ①浴そうの排水栓を、しっかりととはめ込んでください。
- ②浴そうのふたを閉じてください。
- ③メインコントローラまたは風呂コントローラの湯温調節ランプが点灯していることをご確認ください。

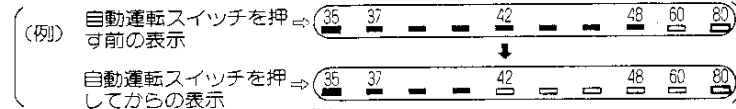


### ④自動運転のしかた

- ①メインコントローラの **自動運転** スイッチ押す  
または  
風呂コントローラの **自動運転** スイッチ押す



→記憶された自動運転温度を湯温調節ランプが表示(点灯)



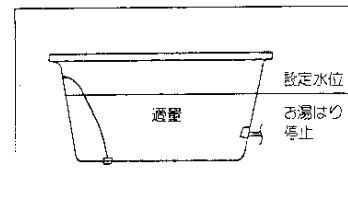
→浴そうへのお湯はり開始 → **給湯 風呂** 給湯側の燃焼ランプ点灯

(※冬湯水温が低いときなど、給湯側の能力(16号)だけでは不足するときは、自動的に追いだき側も燃焼させ、最大21号の能力で自動運転します。このときは、追いだき側の燃焼ランプも点灯します。)

→自動的にお湯はり停止  
(設定された水位)適量になる

→ **燃焼 給湯 風呂** 燃焼ランプ消灯

→湯温調節ランプは自動運転開始前の位置にうつる。



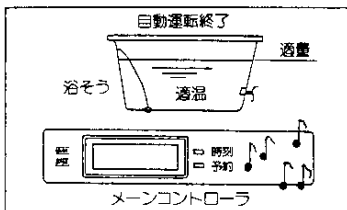
※自動運転温度は、自動運転(お湯はり)中のみ、湯温調節ランプで表示され、自動運転(お湯はり)が停止する(設定された水位になる)と、湯温調節ランプは、給湯(シャワー)の湯温を表示します。

## 使用手順⑨

### 〈ご注意〉

- 自動運転(お湯はり)中は、◁・▷湯温調節ボタンを押しても、湯温調節ランプは動きません。したがって自動運転(お湯はり)中に給湯・シャワーを使用した場合は自動運転温度でお湯がでます。

- ②次にポンプによって浴そうのお湯を循環させ、湯温を確認します。適温(自動運転の設定湯温)に達していないときは、引き続き追いき運転を行い(追いき側燃焼ランプ点灯)、適温に沸し上げ自動運転を終了します。(追いき側燃焼ランプ消灯)



- 〔\*メインコントローラで約30秒間メロディを流して、自動運転の終了をお知らせします。〕

- 〔\*自動運転が終了しても、自動運転ランプは点灯を続けます。これは自動運転終了後は、浴そうの湯温および水位を、適温(設定された自動運転温度)および適量(設定された水位)に維持するキープ運転に自動的に変わるためです。キープ運転が、必要でないときは、自動運転終了後(メロディ報知後)必ず自動運転スイッチを押して、自動運転ランプを消灯させてください。〕

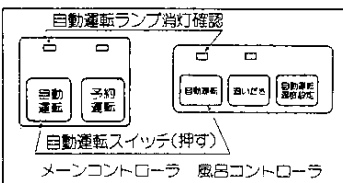
## 自動運転終了後のキープ運転について

- ◎自動運転終了後、約4時間は、浴そうの湯温および水位をほぼ一定(設定通り)に保ちます。

- ①浴そうの湯温が、1℃以上下がると、追いき運転を開始して、設定湯温に達すると、追いき運転を停止します。(ポンプを30分に1度、2分間作動させ湯温を確認します)
- ②浴そうの水位が、約5cm下がると、お湯はり運転を開始して、設定水位に達すると、お湯はり運転を停止します。

- ③ご入浴の予定がお済みになりましたら、必ず自動運転スイッチを押して、キープ運転を解除してください。

〔\*自動運転ランプが消灯します。〕



## 使用手順⑩

## 予約運転(メインコントローラ)

- ご希望の時刻に自動運転を開始させ、自動的に浴そう内へ適温(自動運転の設定温度)適量(自動運転の設定水位)のお湯をはることができます。

### ①現在時刻合せ

- メインコントローラの時計表示/パネルの現在時刻表示をご確認ください。時刻が合っていないときは、必ず時刻合せをしてください。

(※詳しくは、20ページの「現在時刻の合せ方の項をごらんください。)

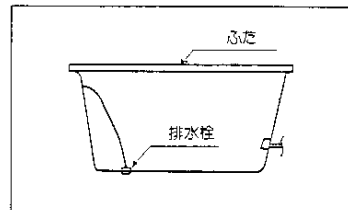
### ②予約時刻合せ

- ①自動運転を開始する時刻を合せてください。(※詳しくは、21ページの「予約時刻の合せ方」の項をごらんください。)





- ②予約時刻が一度時刻合せをされますと、停電後または、予約時刻を変更されるとき以外は、操作する必要はありません。

### ③予約運転の準備

- ①浴そうの排水栓をしっかりとはめ込んでください。
- ②浴そうのふたを閉じてください。
- ③メインコントローラ、または風呂コントローラの湯温調節ランプが点灯していることをご確認ください。



### ④予約運転のしかた

- メインコントローラの  スイッチ押す →  予約運転ランプ点灯  
→ 予約時刻になる →  予約運転ランプ消灯 →  自動運転ランプ点灯。  
→ 自動運転を行います。  
(※自動運転については、14ページをごらんください。)



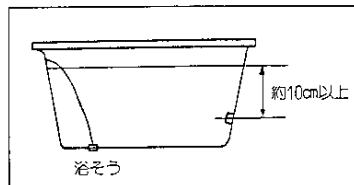
## 使用手順⑩

### 手動による追いだき運転のしかた(風呂コントローラ)

- 入浴時に浴そうの湯がぬるくなったり、自動運転での設定温度よりあつくしたいときの沸し上げに使用します。

#### ①追いだき運転の開始

- 浴そうの風呂アダプタより10cm以上水が入っていることを、必ず確認してください。水がない状態で追いだきスイッチを押さないでください。



- 湯温調節ランプが点灯していることをご確認ください。

- 風呂コントローラの **追いだき** スwitchを押す → **追いだき** 追いだきランプ点灯。

→ **燃焼** **給湯** **風呂** 風呂側燃焼ランプ点灯。

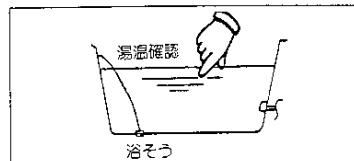
#### 〈ご注意〉

- 器具から浴そうまでの配管の長さの違いにより、風呂側の燃焼ランプが点灯するまでの時間が違いますが、およそ5秒で点灯します。

#### ②追いだき運転の停止

- 好みの湯温になったら、風呂コント

ローラの **追いだき** スwitchを押す。



→ **追いだき** 追いだきランプ消灯 → **燃焼** **給湯** **風呂** 風呂側燃焼ランプ消灯。

#### 〈ご注意〉

- 追いだき運転はスイッチを「切」にするまで連続運転を行いますので、好みの湯温になったら **追いだき** スwitchを押して「切」にしてください。
- 追いだきスイッチを切り忘れた場合は、浴そうの湯温が約50℃に達したときに、追いだき運転を停止させて異常報知 (05) を時計表示パネルに表示します。

(※詳しくは、30ページの「異常報知をする現象と処置方法」の項をごらんください。)

## 使用手順⑪

### ご使用後の処置

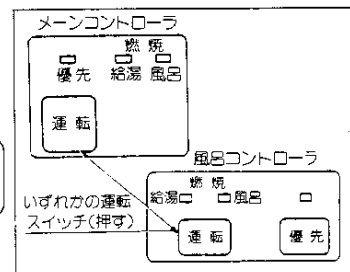
- ①メインコントローラまたは風呂コントローラの運転スイッチを押して、「切」にしてください。

(※すべてのランプが消灯します。)

(※メインコントローラの時計表示/パネルの〔現在時刻〕表示は、消えないで残ります。)

- ②器具を、長時間使用しないときは、必ずガス元栓を閉じてください。

(※予約運転をするときは、この操作はしないでください。)



### 自動運転と給湯・シャワーの同時使用について

- ①給湯・シャワーのご使用場所が器具から離れているときなどは、お湯の出が悪くなります。
- ②給湯・シャワーに使用された湯の量が多いと自動運転時間も長くなる場合があります。

### (前日の)残り湯を沸かすとき

- ①湯温調節ランプが点灯していることを確認してください。
- ②メインコントローラまたは風呂コントローラの自動運転スイッチを押して「入」にしてください。
- ③残り湯の量にかかわらず自動運転を行ない、設定水位、湯温に沸かし上げます。(※詳しくは、14ページを参照してください。)

〔※残り湯が設定水位以上ある場合は、設定湯温を湯温調節ランプに表示しませんが、器具が記憶した設定湯温に沸し上げます。設定温度を確かめたい場合には、再度、自動運転の温度設定を行ってから、自動運転スイッチを押してください。〕

## 手順⑫

### 現在時刻の合せ方(メインコントローラ)

①電源プラグを差し込むとメインコントローラの時計表示パネルにAMランプが点灯(00:00)と時刻表示が点滅します。

②メインコントローラのふたを開けてください。

③時刻スイッチを押してください。  
時刻ランプが点灯し、点滅していた時刻表示が1:00の点灯に替わります。

④「時」合せ  
「時」ボタンを押してください。  
※「時」ボタンは1回押すと1時間缶に進み、押しつづけると早送りになります。

#### 《ご注意》

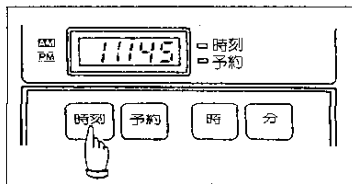
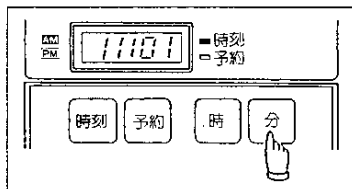
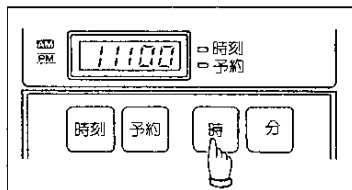
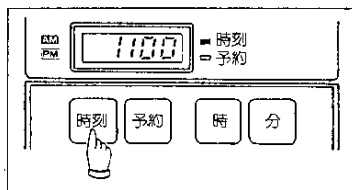
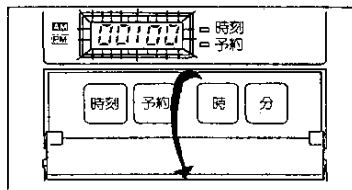
- AM12:00は午前0時、PM12:00は正午を示します。

⑤「分」合せ  
「分」ボタンを押します。  
※「分」ボタンを1回押すと1分缶に進み、押しつづけると早送りになります。

⑥「時刻」スイッチを押してください。  
時刻ランプが消灯します。  
現在時刻合せ終了

※時刻を正確に合せたいときは、電話(117)などの時報と同時に「時刻」スイッチを離してください。

⑦メインコントローラのふたを閉じてください。

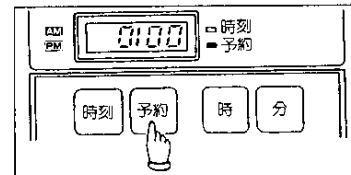


## 手順⑬

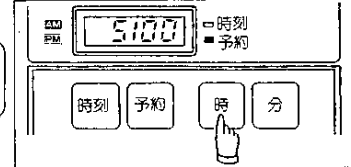
### 予約時刻の合せ方(メインコントローラ)

- 予約時刻(自動運転開始の時刻)合せ。
- 自動運転を開始して沸き上がるまで約13分かかります。(1.5人そうの場合)ご希望の時刻にセットしてください。メインコントローラのふたを開けてください。

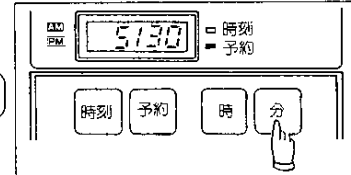
①「予約」スイッチを押してください。  
予約ランプが点灯します。



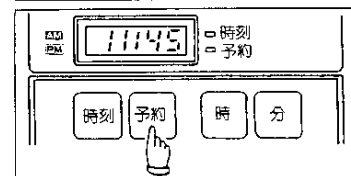
②「時」ボタンを押してください。  
※「時」ボタンは1回押すと1時間缶に進み、押しつづけると早送りになります。



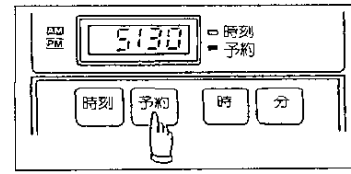
③「分」合せ  
「分」ボタンを押します。  
※「分」ボタンを1回押すと10分缶に進み、押しつづけると早送りになります。



④「予約」スイッチを押してください。  
予約ランプが消灯します。  
現在時刻を表示します。  
予約時刻合せ終了



⑤予約時刻の確認  
「予約」スイッチを押してください。  
予約時刻を表示します。確認してください。



⑥「予約」スイッチを押してください。  
現在時刻表示にもどります。  
⑦メインコントローラのふたを閉じてください。

## 自動運転の水位設定のしかた

- 自動運転（お湯はり）時の浴そうの水  
位は、（出荷時より）風呂アダプタの中  
心から約30cm上方の位置に、設定され  
ています。ただし、お好みによって風  
呂アダプタの中心から上方約20cm～約  
40cmの範囲に、自動運転の水位設定が  
できます。

- ①浴そうの風呂アダプタのカバーを外し  
てください。

（※カバー正面のねじを硬貨で左に回し  
てください。）

- ②風呂アダプタのフィルタを外してくだ  
さい。

- ③風呂アダプタの水位調節つまみを回し  
て、お好みの浴そうの水位に設定して  
ください。

（※水位調節つまみを左に回すと水位が  
高くなり、右に回すと水位が低くなり  
ます。

〔※1回転で約5cm水位が上下します。〕

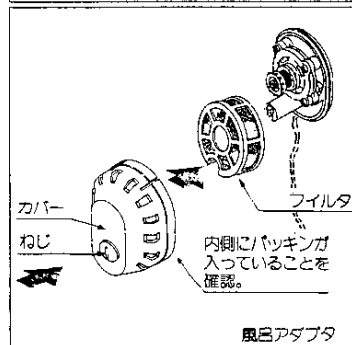
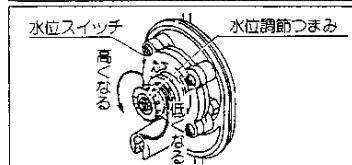
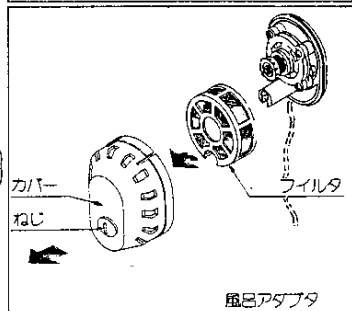
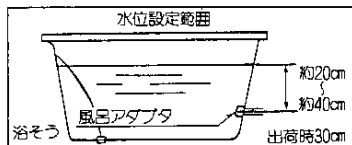
- ④風呂アダプタのフィルタを元通りに、  
取り付けてください。

- ⑤風呂アダプタのカバーを元通りに、取  
り付けてください。

（※カバーの正面のねじを硬貨で右に回  
して取り付けてください。  
ねじ部にパッキンが付いていることを  
確認してください。）

### 〈ご注意〉

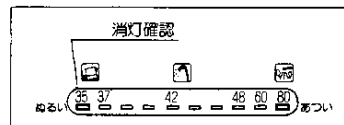
- 風呂アダプタカバーのねじは必ず硬  
貨で回してください。マイナスドラ  
イバーでは傷がつくことがあります。



## 器具(ポンプ)内への呼び水のしかた

- この器具は水抜き後、または設置・工事後は、次に記載している方法で、必ず器  
具（ポンプ）内への呼び水操作をしてください。

- ①メインコントローラまたは風呂コン  
ローラの運転スイッチを「切」にして、  
湯温調節ランプが消灯していることを  
ご確認ください。

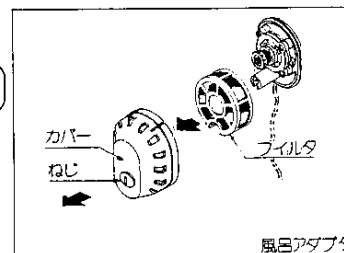


- ②風呂アダプタのカバーを、外してくだ  
さい。

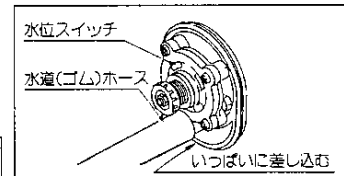
（※カバー正面のねじを硬貨で左に回し  
て外してください。）

- ③風呂アダプタのフィルタを、外して  
ください。

- ④風呂アダプタの吐出ノズルに、水道用  
ホースを奥まで、しっかりと差し込ん  
でください。



- ⑤風呂アダプタの水位スイッチ下から水  
が出てくるまで通水し、水が出てきた  
ことを確認してから、水道用ホースを  
引き抜いてください。



### 〈ご注意〉

- 配管内の水が先に流出することがあ  
りますから必ず連続して水が出るま  
で通水してください。

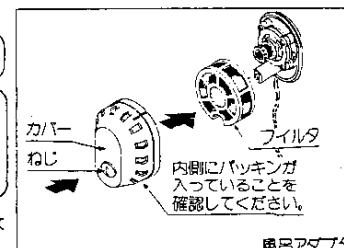
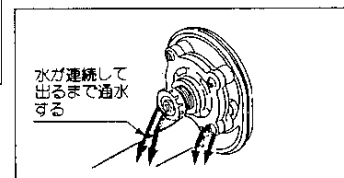
- ⑥風呂アダプタのフィルタを元通りに、  
取り付けてください。

- ⑦風呂アダプタのカバーを元通りに、取  
り付けてください。

（※カバーの大きな開口部が、必ず下  
になるように取り付けてください。

（※カバー正面のねじを右に回して取り  
付けてください。  
ねじ部にパッキンが付いているのを確  
認してください。）

- ⑧これで、〔器具(ポンプ)内の呼び水〕は  
完了です。



## 断水時・停電時の処置

### 断水時の処置

- ①断水のときは、メインコントローラまたは風呂コントローラの運転スイッチを「切」にして、湯温調節ランプの消灯を確認してください。給湯使用中のときは給湯栓を閉じてください。
- ②通水後は9～22ページの「使用手順」にしたがって操作してください。

### 停電時の処置

- 停電しますと、時計(時刻)および予約の記憶はすべて解除されます。時計表示は「00:00」の点滅を行います。また、自動運転の設定温度も解除され設定温度は「約42℃」になります。

#### ①給湯使用中の停電の場合

- 給湯せんを開いてください。

#### ②自動運転中の停電の場合

- 自動運転は停止し、浴そうへの湯も止ります。また、自動運転の設定温度も解除されます。

#### ③追いだき中の停電の場合

- 追いだき運転は停止します。

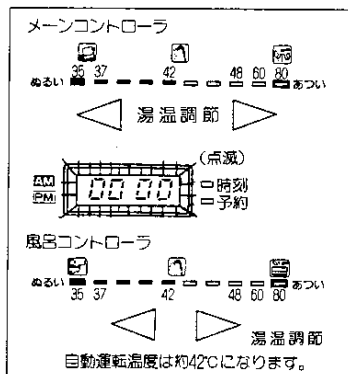
#### ④予約運転中の停電の場合

- 予約運転は解除され、予約運転を行いません。予約時刻も解除されます。

#### ⑤再通電したときの処置

- 再通電したときは14ページ、20～21ページの「使用手順」にしたがって自動運転の湯温設定および現在時刻、予約時刻を再設定し、9～19ページの「使用手順」にしたがって操作してください。

(※自動運転水位の再設定は必要ありません。)



## 冬期の凍結による破損予防について

冬期には、寒冷地以外の暖かい地域でも急な寒波のために、器具・給水・給湯配管および風呂配管が凍結して、器具および配管が破損することがあります。凍結によって器具および配管が破損すると、高額な修理費用がかかりますので、次のような方法で必ず凍結による破損を予防してください。

### 凍結予防装置(凍結予防ヒータ+ポンプ)について

- 冬期、凍結予防処置をしないときには、浴そうの水を抜く習慣をつけてください。(ただし、浴そうが2階にある場合は、残り湯がないと、凍結予防効果が低下しますので、残り湯を抜かないでください)この予防装置では、器具と風呂配管以外の凍結予防には効果がありません。ご注意ください。
- ①この器具には、凍結予防処置を忘れたときや、急な冷え込みのときのために、凍結予防装置(凍結予防ヒータ+ポンプ)が組み込まれています。
- ②外気温度が下がる(約5℃以下になると、自動的に凍結予防ヒータが作動すると共に、ポンプが作動します。
- ③外気温度が上がると、自動的に凍結予防ヒータおよびポンプが停止します。

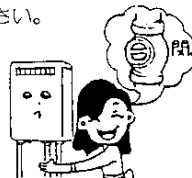
#### 《ご注意》

- ①ただし、外気温度が極端に低く(約-10℃以下)になるようなときは、風呂配管(器具)内の水も凍結する場合がありますのでご注意ください。
- ②風呂配管(器具)内の水を抜くときや緊急のとき以外は、絶対に電源プラグを抜かないでください。電源プラグを抜いていると、この凍結予防装置は、作動しません。

### 給湯せんから水を出し放しにする方法

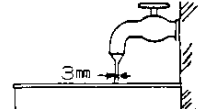
- 器具本体だけでなく、給水管、給湯管の凍結予防にもなります。ただし、この方法でも、浴そうの残り湯を抜いてください。

ガス元栓を閉じてください。



運転スイッチを「切」にしてください。湯温調節ランプの消灯を確認してください。  
※電源プラグを抜かないでください。

給湯栓より少量の水を流してください。1分間に牛乳ビン1本(200cc)以上。(寒い日は多めに。)給湯栓



#### 《ご注意》

- 給湯栓からの流量が不安定なことがありますので、念のため30分ぐらい後に、もう一度流量を確認してください。

## 器具内の水を抜く凍結予防方法

- 浴そうの残り湯を抜いてください。

〈入居前や長期不在の場合〉

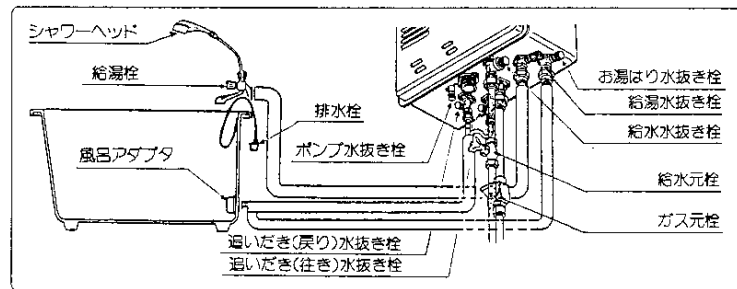
- この方法では、給水・給湯配管部分の凍結予防はできませんが、凍結から器具を守るには、最も良い方法です。

〈水抜きの手順〉

- ①運転スイッチを「切」にし、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- ②ガス元栓を開けてください。
- ③給水元栓を開けてください。
- ④すべての給湯栓を開けてください。
- ⑤シャワーヘッドを下に下げてホース内の水を抜いてください。
- ⑥器具の水抜き栓(6箇所)を左に回して外してください。

〈ご注意〉

- 給湯栓は、次にお使いになるまで、閉じたままに、水抜き栓は外したままにしておいてください。



〈再度ご使用のときの手順〉

- ①水抜き栓(6箇所)を閉じる。
- ②給水元栓を開き、給湯栓から水が出るのを確認してください。水抜き栓からの水もれがないか確認してください。
- ③すべての給湯栓を閉じてください。
- ④ポンプの呼び水をしてください。(呼び水の方法は23ページを参照してください)
- ⑤9～22ページの「使用手順」の項にしたがって操作してください。

## 凍結時の処置

- ①給水元栓を開いた後、給湯栓を開いて水が出てくることをご確認ください。
- ②次に、給湯栓を閉じて器具および給水・給湯・風呂配管に水漏れのないことをご確認ください。
- ③その後、9～22ページの「使用手順」の項にしたがって、操作してください。

〔\*もし、器具および給水・給湯・風呂配管に水漏れを発見されたときは、お買い求めのサービスショップ、またはもよりの大阪ガス支社にご連絡ください。有償修理いたします。〕

## 日常の点検・手入れ

- ①この器具を、安全に、快適に、ご使用いただくために、必ず「日常の点検・手入れ」をしてください。
- ②「日常の点検・手入れ」の際には、運転スイッチを押して「切」にし、湯温調節ランプの消灯を確認後、器具が十分に冷えてから(約10分後)にしてください。
- ③器具本体の前板などは、絶対に外さないでください。

### 日常の点検

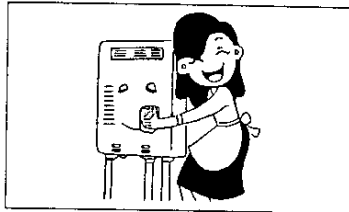
- ①器具の周辺にダンボール箱などの燃えやすいものは、置いていませんか?
- ②器具周辺のガス配管部から、ガスが漏れていませんか?
- ③器具周辺の給水・給湯・風呂配管から、水が漏れていませんか?
- ④器具の給気口や排気口(排気トッポ)をダンボール箱などで、ふさいでいませんか?  
(※給気口や排気口の位置は、2ページの「各部の名称」の項をごらんください。)
- ⑤器具のご使用に支障がなくても、2～3年に一回くらいは、バーナの燃焼状態や各部の作動に異常がないことを、定期的に点検することをおすすめします。  
●これは器具を安全に、快適に、長く、ご使用になるための(ひけつ)です。  
(※定期点検のご依頼は、お買い求めのサービスショップ、またはもよりの大阪ガス支社にご相談ください。)

## 日常の点検・手入れ②

### 日常の手入れ

#### ①前板・メインコントローラおよび風呂コントローラのそうじ

- ①器具の前板およびメインコントローラ・風呂コントローラの汚れは、やわらかい布、またはスポンジに台所用中性洗剤を付けて、そうじしてください。
- ②汚れを取り除いた後で、水拭きおよび空拭きをして、洗剤を落としてください。



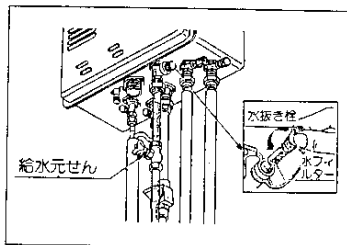
#### 《ご注意》

- ①それぞれのコントローラには、直接水がかからないようにご注意ください。
- ②そうじのあとには、洗剤が残らないようにご注意ください。
- ③金属たわし・みがき粉・シンナー・ベンジンなどは、使用しないでください。  
[\*キズが付いたり、色が変わったり、文字が消えたりします。]

#### ②水フィルタのそうじ

- この器具の給水水抜き栓には、水フィルタが内蔵されています。この水フィルタに給水配管内のごみや砂などがたまりまると、器具内を通る水量が少なくなるために、不着火や途中消火などの原因となりますので、ときどき点検・そうじをしてください。

- ①給水元栓を閉じてください。
- ②給水接続口の給水水抜き栓を外してください。
- ③水抜き栓の水フィルタ部をそうじしてください。
- ④そうじ後、水抜き栓を給水接続口にしつかりと締め込んでください。



#### 《ご注意》

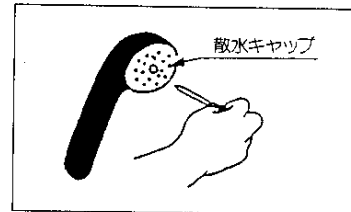
- 給水水抜き栓を外すときには、水が多量に出ますのでバケツや洗面器などで、受けてください。

## 日常の点検・手入れ③

#### ③シャワーヘッドのそうじ

- シャワーをご使用のときに、お湯の量が少な過ぎたり、不着火や途中消火がときどき起こる場合は、シャワーヘッドの散水キャップにごみが詰まっていることがありますので、点検・そうじをしてください。

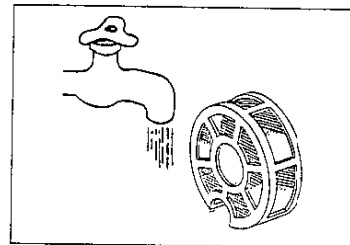
- ①シャワーヘッドの散水キャップをドライバーなどで外してください。
- ②散水キャップの穴を針や干板とおしなどでそうじしてください。
- ③シャワーヘッドの散水キャップを元通りに、取り付けてください。



#### ④風呂アダプタのフィルタのそうじ

- 浴そうの風呂アダプタには、フィルタが内蔵されています。そのフィルタに風呂配管内のごみや砂などがたまりまると、風呂アダプタを通る水量が少なくなるために、自動運転のお湯はり時間が長くなる原因となりますので、ときどき点検・そうじをしてください。

- ①まず、風呂アダプタのカバーを外してそして、フィルタを外してください。
- ②フィルタにたまったごみや砂などを、いきおいよく水を流して、水洗いしてください。
- ③風呂アダプタのフィルタとカバーを、元通りに取り付けてください。



## 長期間使用しない場合

- この器具を長期間使用しない場合は、必ず次の手順で操作してください。
- ①26ページの「器具内の水を抜く凍結予防法」の項にしたがって、水抜きを操作してください。
- ②ご使用になるまで、そのまましておいてください。
- ③再度ご使用のときは、23ページの「器具(ポンプ)内への呼び水のしかた」の項にしたがって呼び水を行った後、9～22ページの「使用手順」の項にしたがってください。

# 故障・異常の見分け方と処置方法

ご使用中にふだんと違った状態になったときや、不具合が生じたときは、そのままお使いにならず、ただちにご使用を中止して十分な点検をお願いします。

## 異常報知をする現象と処置方法

- ①この器具には不具合が生じたときに、燃焼ランプの点滅と同時に状況に応じた計表示パネルに、ある数字を表示し不具合の原因を知らせる機能があります。
- ②異常報知したときは、表示数字を確認後、運転スイッチを「切」にしてから、処置方法にしたがって処置し、再度使用手順にしたがって操作してください。
- ③下表の通り、異常報知数字に応じた処置を行ってください。

時計表示 パネル	表示内容・原因	処置方法	参照 ページ
時刻表示 AM10:00	正 常		—
01または02 点滅	給湯側：着火不良または途中 消火。	ガス元栓を全開にする。	9 10
03または04 点滅	風呂側：着火不良または途中 消火。	同 上	18
05 点滅	風呂側：追いだきスイッチの 「切」忘れ、沸しすぎ。	浴そうの湯をぬるくしてから、 使用してください。	18
06 点滅	風呂側：浴そうに湯がない。 風呂アダプタフィルタつまり。 器具(ボンパ)内に呼び水されてない。	○浴そうに湯をまててください。 ○フィルタのそうじ ○呼び水をしてください。	18 または 29
07 点滅	お湯はり時間が40分以上続いている。	浴そう排水栓をはめ込んでく ださい。給湯と自動運転の同 時使用をさけてください。	14 16
08 点滅	浴そう排水栓の抜けまたはゆるみ。	浴そう排水栓をしつかりとは め込んでください。	14 16 18
09 点滅	自動運転時の断水または凍結。	通水するまで使用を中止して ください。	24 または 27
10~21 点滅	安全装置の作動または電気部 品の故障。	点検修理を依頼する。	—

- ④処置後、異常報知をくり返すときは、運転スイッチを「切」にし、ガス元栓を閉じて、お買い求めのサービスショップ、またはもよりの大阪ガス支社にご連絡ください。

# 故障・異常の見分け方と処置方法②

## 異常報知をしない現象と処置方法

原因	現象								処置方法	参照 ページ
	運転スイッチを入れてもランプが点灯しない。	給湯性を開いても点火しない、点火しにくい。	使用中に湯温が極端に変動する。	使用中に消火した、消火しやすい。	給湯性を開いても湯水が出ない。	高温の湯が出ない。	低温の湯が出ない。	風呂が沸かない。		
ガス元栓の開き不十分。					○		○		運転スイッチを切ってから ガス元栓を全開にする。	9
給水元栓の開き不十分。	○	○	○	○	○	○			給湯せんをたん閉してから 給湯性を全開にする。	9
水圧が適切でない。	○	○	○	○	○	○			点検、修理を依頼する。 (他に原因がないとき)	10
水フィルタのつまり。	○	○	○	○	○	○			つまり除去または点検、 修理を依頼する。	28
断水している。	○		○	○					使用をたん中止する。	24
凍結している。	○			○					解凍するまで使用を中 止する。	27
湯温調節が適切でない。					○	○			「使用手順」参照。	11 12
給湯栓の開き不足。		○	○	○	○	○			給湯栓を全開にする。	10
電気部品の故障。	○	○	○		○	○	○		点検、修理を依頼する。	—
停電している。	○	○						○	「停電時の処置」参照。	24
電源プラグが抜けている。	○	○						○	電源プラグを差し込む。	9
漏電安全装置作動。	○	○						○	電源コードを一度抜き 再び差し込む。	33

- 処置や原因がわからないときは、お買い求めのサービスショップ、またはもよりの大阪ガス支社へご連絡ください。

## 安全装置が作動したときの処置方法

### ■安全装置の種類とその働き

#### ① 過熱防止装置

使用中器具内の温度が異常に高くなったときは、この安全装置が働いて自動的にガス弁を止めて、燃焼ランプが点滅して（メインコントローラの時計表示パネルに異常報知「15」を表示して）お知らせします。

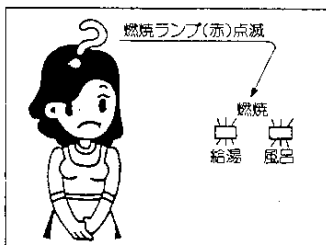
#### ② 空だき安全装置

熱交換器が異常な温度上昇をしたときはこの安全装置が働いて自動的にガス弁が閉じて、燃焼ランプが点滅して（メインコントローラの時計表示パネルに異常報知「15」を表示して）お知らせします。

#### ③ 過昇温安全装置

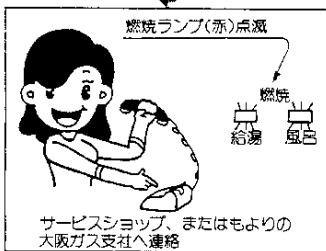
使用の際に、湯量を極端に絞ったり、水圧が低いときに湯温が過度に上昇することがあるため、過昇温防止装置を設けてあります。湯温が約90℃以上になるとこの装置が働いて、自動的に消火し、燃焼ランプが点滅して（メインコントローラの時計表示パネルに異常表示「11」を表示して）お知らせします。

### (処置方法)

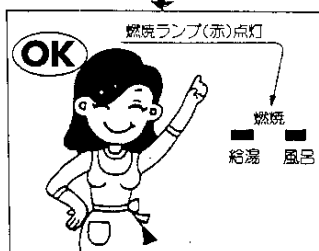


(給湯せんを閉じて)メインコントローラまたは風呂コントローラの運転スイッチを「切」にする。

1分間待つてから運転スイッチを「入」にし、(給湯せんを開く。または)希望のスイッチを「入」にする。



または



#### ④ 立消え安全装置

万一使用口にバーナの炎が消えたときは、この安全装置が働いて自動的にガス弁を閉じて、燃焼ランプが点滅して（メインコントローラの時計表示パネルに異常報知「02」または「04」を表示して）お知らせします。

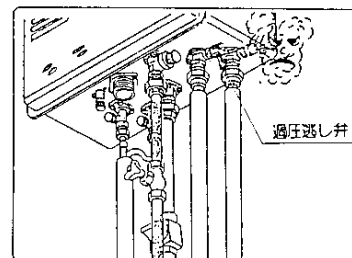
(※30ページの「異常報知をする現象と処置方法」の項にしたがって処置してください。)

#### ⑤ 過圧防止安全装置(過圧逃し弁)

器具の使用停止直後に熱交換器の余熱により、熱交換器内の圧力が高くなり、過圧逃し弁が作動して水がポタポタ出ることがありますが、器具の故障ではありません。このような場合には床面をぬらしますので不都合が生じるときには、過圧逃し弁の排水処理が必要です。お買い求めのサービスショップ、またはもよりの大阪ガス支社にご相談ください。

### (ご注意)

- 空だき安全装置が作動する際には、器具の損傷を防ぐため過圧防止安全装置(過圧逃し弁)が作動し高温の蒸気が噴出しますので、ご注意ください。



#### ⑥ 漏電安全装置(漏電しゃ断器)

この器具は、万一漏電した場合に漏電安全装置が働いて使用できなくなります。この場合、運転スイッチを押しても湯温調節ランプが点灯しませんので電源コードのプラグを一度抜き差ししてからご使用ください。再度同じ現象が起きたときは、お買い求めのサービスショップ、またはもよりの大阪ガス支社へご連絡ください。

次のような現象が起きても器具の故障ではありません

	現象	理由
1	給湯栓から、白にごつたようなお湯が出てくる。	水がお湯になるときに、水中に含んだ空気が分離して出てきます。
2	冬期に、器具の排気口(排気トップ)から、白い煙が出てくる。	燃焼排ガス中に含んだ水蒸気が外気温度に冷やされて湯気になります。
3	自動運転・追いだし運転をしていないときでも、ポンプが回転している。	風呂配管内の水が凍結するのを防ぐために、自動的に作動します。
4	湯温調節を(高温)80℃にすると、湯の出が悪くなる。	自動的に湯の量を絞って、(高温)80℃の湯が得られるように制御しています。



## アフターサービス

### アフターサービスのお申し込み

- ①30～33ページの「故障・異常の見分け方と処置方法」の項をごらんになって、もう一度ご確認ください。
- ②ご確認の上、それでも不具合がある場合、あるいはご不明な点がある場合には、ご自分で修理なさらなくて、お買い求めのサービスショップ、またはもよりの大阪ガス支社にご連絡ください。
- ③なお、ご連絡をいただくときは、次のことをお知らせください。

- ①(品名)……………追いだき機能付湯沸器  
②(大阪ガス商品コード)……………器具の正面左下に貼り付けてあります。

(例)

**(4)31-280(U)**

大阪ガス株式会社 **08**

- ③(現象)……………できるだけ詳しく  
④(道順)……………できるだけ詳しく

### 転居される場合のご注意

- ①ガスの種類には、都市ガスとLPガスとがあり、さらに都市ガスにはガスグループの区分がありますのでご注意ください。
  - ②転居先によっては、現在使用中のガスと異なる場合がありますので、必ず転居先のガスの種類(ガスグループの区分)をご確認ください。
  - ③転居先のガスの種類(ガスグループの区分)が、現在使用中のガスと異なる場合には、そのガスに合わせるために、部品の交換や調整が必要となりますので、お買い求めのサービスショップ、またはもよりの大阪ガス支社にご相談ください。
- (※この場合、部品の交換や調整に要する費用は、器具の保証期間(無料修理期間)内であっても、有料となりますのでご了承ください。)

## アフターサービス②

### 保証についてのご注意

- ①この器具には「保証書」が付いています。「保証書」に記載のように、その条件を除いて、この器具の保証期間(無料修理期間)内は、無料にて修理させていただきます。  
※詳しくは、「保証書」をごらんください。
- ②「保証書」を紛失されると、器具の保証期間(無料修理期間)内の修理であっても、修理費用をいただくことがありますので、この「取扱説明書」と共に大切に保存してください。
- ③器具が無料修理期間内に故障した場合は、「保証書」を提示してください。
- ④また、「保証書」に無料修理期間およびお買い求めのサービスショップの記載のない場合は、無効となりますので、必ずご確認ください。記載がないことを発見されたときは、お買い求めのサービスショップ、またはもよりの大阪ガス支社にご連絡ください。

### 補修用性能部品の最低保有期間についてのご注意

- ①器具の保証期間(無料修理期間)経過後の修理については、お買い求めのサービスショップ、またはもよりの大阪ガス支社にご相談ください。器具の修理は、器具の性能が維持できる場合のみ、有料にて行いますのでご了承ください。
- ②補修用性能部品の最低保有期間は、製造打切り後10年となっております。その後の修理は、補修用性能部品がなくて、修理できない場合がありますのでご了承ください。

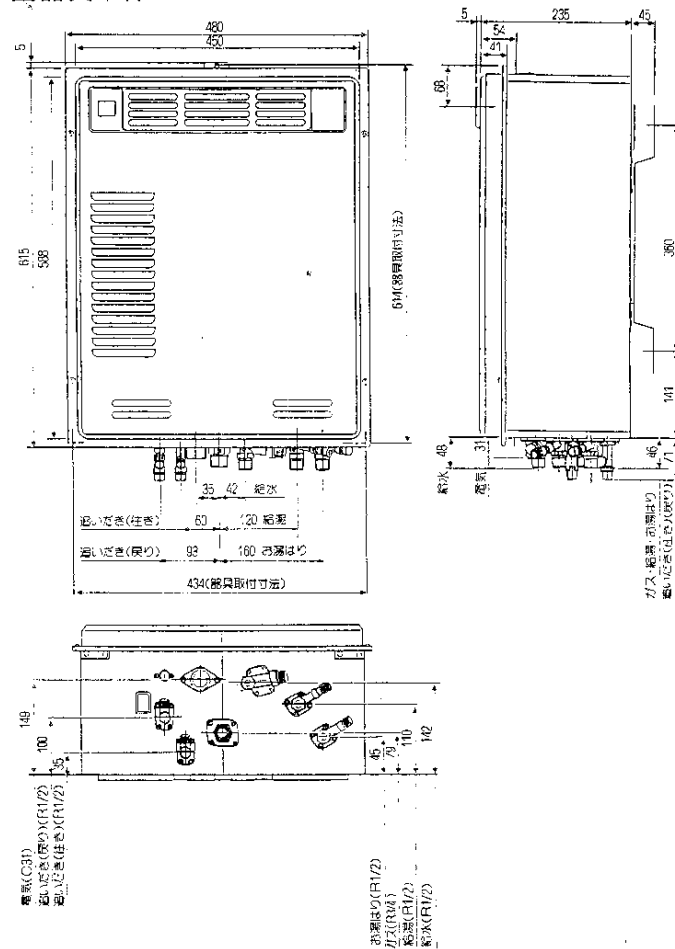
# 仕様一覧表

種別		〈追いだき機能付湯洗器〉			
		31-280型・31-281型・31-282型・31-283型・31-284型			
項目		都市ガス6C	都市ガス13A	都市ガス6A	LPガス
同時使用 最大ガス消費量	(kcal/h)	40,000	40,000	40,000	3.33(kg/h)
給湯 最大ガス消費量	(kcal/h)	30,000	30,000	30,000	2.5
追いだき ガス消費量	(kcal/h)	10,000	10,000	10,000	0.83
給排気方式		屋外用			
外形寸法(mm)		高さ615×幅480×奥行235			
重量(kg)		33			
接続	ガス	都市ガス用・LPガス用 20A(R3/4)			
	給水	15A(R1/2)			
	給湯	15A(R1/2)			
	風呂	お湯はり 15A(R1/2)		追いだき15A(R1/2) <sup>10A</sup> ソルダ接続	
	電気	電線管ねじC31			
定格電圧(V)		AC100			
定格周波数(Hz)		60			
定格消費電力(W)		200(凍結予防ヒータ+ポンプ作動時270)			
点火方式		連続放電点火式			
使用水圧(kg/cm <sup>2</sup> )		1.0~10(最低作動水圧0.15)			
出湯能力(l/分)(水温+25℃)		16(混合水栓で混合した場合の数値です)			
排気温度(℃)		260以下			
安全装置		立消え安全装置 過熱防止装置 空だき安全装置 過圧防止安全装置 凍結予防装置 漏電安全装置 ファン回転検知装置			

# 外形寸法図

31-280型・31-281型(標準タイプ)

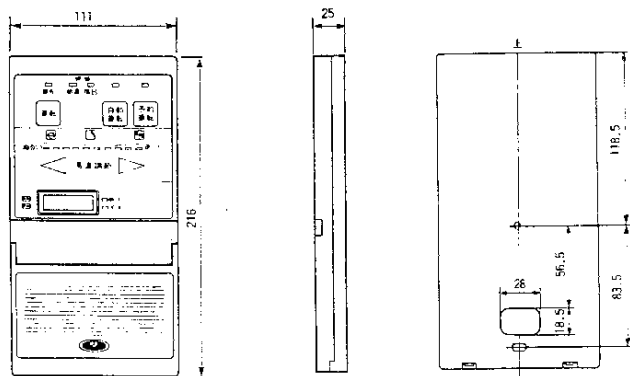
## 器具本体



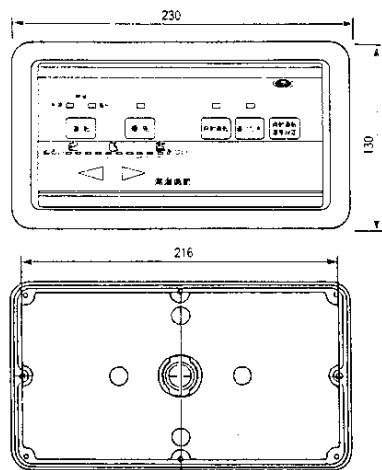
※31-280型と31-281型とは、器具本体の外観寸法は同じ仕様ですが、同こんされる付属品のみ異なりますのでご注意ください。  
 ※それぞれの付属部品については、「工事説明書」をごらんください。

## 外形寸法図②

### ■メインコントローラ



### ■風呂コントローラ



## 別売部品のご紹介

●この器具を正しく設置・工事するために、次の別売部品をご利用ください。

別売部品名	コード	同 こん 部 品	外 観
据 置 台	36-071型	転倒防止金具(A) 転倒防止金具(B) 木ねじ……………2本 M4ねじ……………4本 カールプラグ……2本 蝶ボルト……………2本	
配管カバー	36-072型	M4ねじ……………2本 蝶ボルト……………2本	
防 熱 板			
低温作動弁			
バキューム弁			

●この別売部品の設置および取付工事については、それぞれの別売部品の「説明書」と器具の「工事説明書」とを併用して、正しく行ってください。

## 特 長

- 1 ● 21号の大能力で自動お湯はり（190ℓを約13分間）を実現。また、4時間の適温・適量キープ機能を持っています。さらに、お好みの時刻に自動運転を開始する予約運転機能をもっています。
- 2 ● 2缶2水路方式ですから、お風呂の追いだきをしながら、給湯・シャワーの同時使用が可能です。
- 3 **マイコン制御で快適適温給湯**
  - この器具は、マイコン制御の採用によって、より安定した湯温・湯量が得られるようになりました。
    - ・ 第一に、前もって給水温度と器具内を通る水量から、設定湯温に合わせるためのガスの量だけ燃焼させ、さらに、器具から出ていく湯温と設定された湯温との差から燃焼させるガスの量を調節しますので、安定した湯温が得られます。
    - ・ 第二に、器具の能力を最大限に活用するために、水量を制御する装置が内蔵されています。これは、給湯栓を全開にしても、この装置が働いて、器具の能力（給湯最大16号、自動運転最大21号）に合わせて、自動的に湯量を絞りますので、安定した湯温が得られます。
- 4 ● メンテナンス時に便利な異常報知機能が付いた、安心設計です。

## メ モ

## 本製品と快適なくらしのために



ボタン一つで年中、快適なバスライフが、楽しめます。

### おねがい

ガス使用時はお部屋の元栓を閉じ、窓を全開にしてから（火気に注意して）お買い求めのサービスショップ、またはおまよりの大阪ガス支社までご連絡ください。

#### 本社ガスビルサービスセンター・支社所在地および電話番号

本社ガスビルサービスセンター	☎541 大阪市東区平野町5-1	☎大阪(202) 2221
南支社	☎557 大阪市西成区玉出東2-9-41	☎大阪(652) 0091
北支社	☎532 大阪市淀川区十三本町3-6-35	☎大阪(301) 1251
堺支社	☎580 堺市住吉横町2-2-19	☎堺 0722(38) 1131
北摂支社	☎569 高槻市藤の里町39-6	☎高槻0726(71) 0361
阪神支社	☎662 西宮市和上町4-11	☎西宮0798(25) 3101
東部支社	☎578 東大阪市相楽2-3-17	☎河内0729(62) 1131
京阪支社	☎573 枚方市西田宮町16-17	☎枚方0720(41) 1251
神戸支社	☎650 神戸市中央区相生町5-13-10	☎神戸078(576) 5231
京都支社	☎604 京都市中央区鶴丸御池福屋町358	☎京都075(231) 8151
奈良支社	☎631 奈良市学園北2-4-1	☎奈良0742(44) 1111
和歌山支社	☎640 和歌山市本町1-1-1	☎和歌山0734(31) 2481
姫路支社	☎670 姫路市神屋町4-8	☎姫路0792(85) 2221
姫路支社	☎675 加古川市加古川町栗津29-1	☎加古川0794(21) 1801
豊岡支社	☎668 豊岡市三坂町6-57	☎豊岡07962(3) 2221
湖南支社	☎525 草津市追分町字荒島680-1	☎草津0775(62) 5311
彦根支社	☎522 彦根市大東町12-11	☎彦根0749(22) 3131
(長浜営業所)	☎526 長浜市南長浜町3-4	☎長浜0749(62) 7171

その他当社サービスステーション、およびサービスショップ

大阪ガス株式会社